

令和7年3月14日
 JA中野市営農センター
 JA中野市プラム部会

生育は平年並みに推移 ・ 凍霜害対策の準備をお願い致します。

2月、3月上旬の平均気温は平年より低く、生育は平年並みに進んでいると思われますので、開花期も平年並みに迎えると予想されております。

本年も凍霜害が心配されますので、オイルヒーターをお持ちの方は、すぐに使用できるように準備をお願い致します。

(平岡定点 開花日)

「平岡地区 太陽 開花予想 4月10日」

平年	R4	R5	R6	R7
4/10	4/12	4/2	4/12	4/10?

1. プラム薬剤散布 (今回、プルーンの防除はありません)

【第2回 定期防除】 対象病害虫：黒斑病、かいよう病

散布時期	・開花1～2輪咲き頃 (3月下旬～4月上旬)	
散布薬剤	水 100ℓ当たり ICボルドー412 3.3kg	散布日 _____ 月 _____ 日 散布量 _____ ℓ
散布量	10a当たり 350ℓ	
注意事項	<p>*他の園地にかからないよう散布する。</p> <p>① 展葉後の散布は薬害を生じる恐れがあるため、散布時期を厳守する。</p> <p>② 【黒斑病(かいよう病)強化対策】 固着性展着剤「アピオンE」の2,000倍を加用する。</p>	

2. 凍霜害対策のポイント

①間接防止法

***敷きワラ**：地温が上昇しにくく凍霜害が心配される時期が過ぎるまで、敷きワラは実施しない。

（敷きワラは凍霜害を助長する場合があります）

***草刈り**：草生栽培園は、草丈を短く維持する。

***かん水**：温かい日の日中に地上かん水を行い、地温を高めておく。

②防霜ファン

防霜ファン設置園は、2～3℃で作動開始し、6℃で停止するよう設定する。

降雪・降雨の際は、防霜ファンを稼働しない。

●プラム凍霜害発生危険温度（30分間 福島県農業総合センター）

*目安としてご覧ください。

生育段階		
色づいたつぼみ	開花中	小さい幼果
-5.0℃	-2.7℃	-1.1℃

黒斑病（かいよう病）

越冬場所：樹上（枝の病斑部や芽で越冬し、翌年の伝染源となる）

感染時期：落花期～梅雨期頃まで

防除対策：① 薬剤防除（開花前のボルドー散布、落花期頃からの抗生物質剤の散布）

*抗生物質剤・・・アグレプト水和剤、マイコシールドなど

② 風当たりの強い園地は、防風ネット・防風林などを設置する。

③ 被害枝の切除

